

事務事業名	外国青年招致事業(国際交流員)		所属部	政策企画部	所属課	地域振興課
政策名	総合計画体系	(IV) ふるさを愛し豊かな心を育む教育と文化のまちづくり《教育・文化》	所属G	公共交通・国際交流グループ	課長名	小川忍
施策名		(24) 生涯学習の推進	担当者名	野々村一彦	電話番号(内線)	0854-40-1014
基本事業名		(071) 学習機会の提供	予算科目	会計 款 項 目 中事業	3520	外国青年招致事業(国際交流員)

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~年度)	自治体国際化協会(取りまとめ団体: 県)のJETプログラムにより外国青年を招致し、雲南市国際交流員として契約し、様々な国際交流事業を実施する。	合併以前から、旧大東町、旧加茂町、旧木次町では、JETプログラムによりそれぞれ英語圏の国際交流員1名を配置していた。合併後もその契約は引き継がれ国際交流員3名体制でスタートとなった。その後、H20年4月より韓国交流員を招致し、英語圏交流員1名との2名体制としている。

(2) トータルコスト

		単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
① 事業費の内訳(概要)	事業内訳	国庫支出金	千円					
		県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円	434	459	446	459	459
		一般財源	千円	8,762	8,518	8,429	8,551	8,551
	事業費計(A)	千円	9,196	8,977	8,875	9,010	9,010	
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	848	701	674		
		人件費計(B)	千円	3,234	2,725	2,657	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	12,430	11,702	11,532	9,010	9,010	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

① 主な活動	23年度実績(23年度に行った主な活動)	学校訪問・英会話・韓国語教室・国際交流イベントの企画運営・国際交流団体事業への協力・海外他都市との連絡支援・在住外国人支援に係る活動支援・通訳・翻訳	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	英語圏1名・韓国1名の体制を継続し、22年度と同様の活動を継続する。	⑤ 活動指標							
手段			ア	国際交流員の人数	日	2	2	2	2	
			イ	イベントの開催回数	回	5	4	8	10	
			ウ	派遣依頼の回数	回	26	30	19	25	
			エ							
			オ							

② 対象(誰、何を対象にしているのか)	市民全般	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
		⑥ 対象指標							
③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	国際感覚豊かな市民の育成を図る	ア	人口	組織	42428	41927	41159	41032	40650
		イ		人					
		⑦ 成果指標							
④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	生涯を通じて、人生を豊かにするために学ぶ	ア	市の国際交流事業に参加した市民数	人	2802	3673	3615	3700	
		イ		人					
		ウ							
⑧ 上位成果指標		ア	生涯学習活動を行っている市民の割合	%	35.6	39.6	34.2		
		イ							

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
雲南市発足時には3名体制であったが、事業の整理見直しにより1名減員とし、平成19年8月から英語圏国際交流員2名体制となった。さらに、平成20年4月から新規に韓国青年を招致するとともに、同年7月には英語圏1名減員となり、それ以降は英語圏1名と韓国1名による国際交流員2名体制となった。	①と同じ	事業に参加いただく市民の方からは、概ね好評をいただいております。「英語圏と韓国の国際交流員により、幅広い国際交流の機会ができて嬉しい」との意見があった。

事務事業名	外国青年招致事業(国際交流員)	所属部	政策企画部	所属課	地域振興課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↘ 国際交流員を配置することによって、中山間地にある雲南市において、実際に外国青年たちと交流する機会が得られるので、その結果、多様な価値観に触れ、国際感覚豊かな人材の育成に結びつく
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↘ 世界のボーダーレス化は日々進展しており、市内においても、以前に比べ在住の外国人が増加しており、お互いに異文化を理解し、共生していくために異文化理解を推進していくことが求められている。国際交流を通じた人づくり地域づくりを推進していくためにも妥当である
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↘ 老若男女を問わず広く市民を対象としているため適切である
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↘ あるべき水準には達していると思うが、より効果的に国際交流事業を推進していくため、国際交流員の活用方法・業務内容等常によりよい方法を模索していく。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↘ 語学能力が必要な業務が多々あるため、国際交流員がいなくなることでの影響は大きい。また学校訪問や語学講座など、市民に定着している事業も多々あり、廃止・休止は影響が大きい
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↘ 類似事業はない。現状では他の方法は考えられない
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↘ 英語圏1名と韓国1名の国際交流員2名体制により、幅広い異文化交流の提供を実現している。本事業費は国際交流員配置に係る経費であるため、事業費を削減することは国際交流員を減員することであり、そうすれば成果は確実に下がることになる。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↘ 職員2名は最小限度の人員であり、イベント等の際には民間ボランティアの方に手伝っていただくこともある。これ以上の削減余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていない不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↘ 事業の対象者は広く市民一般であり、市報やケーブルテレビを使い広く広報している。また、語学講座については、以前は無料で行っていたが、受益者が限られるため会場使用料について22年度より受益者負担としている

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	国際交流員の配置により、様々な国際交流機会を提供し、また海外都市との交流もよりスムーズに行えるようになった。今後も、より国際交流の裾野を広げ、関心の高い市民の皆さんと連携を深め、国際交流を人づくり、地域づくりのために活かしていけるように引き続き努めたい																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
成果が目に見えにくい事業ではあるが、国際交流の裾野を広げ、人づくり、地域づくりに資するため、市民の方の意見も聞きながら、多くの人を巻き込んでいく努力と工夫が必要。																							